

ち、目指すようになりました」。札幌市内の病院に勤務する想定なので「通勤にクルマを使うことは無いと思います。しかも車種には疎くて、現在の知識の中で挙げるのであればLAV4やCX-5のようなSUV系ですかね」。では安居さんを運転免許取得に向かわせた理由は何なのか？

「例えばドライブに出かける時、運転は免許を持っている人に任せっきりになりますよね。自分が運転できれば交代することができます。また親戚や仲間が集まってお酒を飲む時には、免許を持っている人たちの間で、今日は俺が飲まないようにするからクルマを出すよ」という相談があります。自分もその一員として加わりたくなったんです」。

ご本人は照れるが、根底は優しさと思いやりなのだと思う。「社会人のハンドボールサークルに加入しているのですが、練習や試合の際、どなたかに送迎していただく機会も多く、申し訳ないなという気持ちもあります」。相手を慮ることはとても重要。これは看護師という職業に共通する。

マイカーを購入するとして、クルマ選びの基準



札幌の大学に学び、看護師を目指している安居颯斗さん。「過去に自分がお世話になったことがある、看護師という仕事に関心を持

ドライバーとして頼られる存在になりたい

札幌市在住 20歳 安居 颯斗(さすい)はやくとさん

を伺ってみると「スタイルや性能というよりは…ちょっと変なことを言っても良いですか？(笑)」。なんでもどうぞと伝えた結果、ユニークな返答が返ってきた。「車内の臭いなんです。もちろんタバコはNGですが、汚れた臭いのする空間には居たくないんです」。おそらくこの答えはこれまで聞いたことがないし、ユニークで個性的なのだが、気持ちはよく分かる。

クルマ選びのポイントは、臭いとオーディオ！?



「例えばドライブに出かける時、運転は免許を持っている人に任せっきりになりますよね。自分が運転できれば交代することができます。また親戚や仲間が集まってお酒を飲む時には、免許を持っている人たちの間で、今日は俺が飲まないようにするからクルマを出すよ」という相談があります。自分もその一員として加わりたくなったんです」。

運転免許 夢見るカーライフ 第26回



取材・写真／横山聡史 (Lucky Wagon)

国語教師として道内に赴任することを見据えて

札幌市在住 19歳 野崎 昊佑(のぎこうすけ)さん



札幌の大学で文学と哲学を学んでいる野崎昊佑さん。見据えている将来は道内の中学、あるいは高等学校教諭である。北海道全域が赴任の対

象エリアになるため、運転免許とクルマは必須。これを踏まえ、比較的時間のあるこの時期に免許所得に挑んだという。「インドア派なので、ロングドライブに出かけることはあまりないんです」とは言うものの、お父様のご実家(苫前町)とお母様のご実家(和寒町)への帰省は、幼少期から続いているそう。「小学生の頃、苫前町に行ったものの(おそらく)雪崩が発生して国道が通行止になり、札幌に帰れなくなった記憶があります。でも雪の無い季節に走るオロロンラインはとても綺麗で、自分でドライブしてみたいな〜と思っています」。

大学では文学会というサークルに所属。文学作品に親しみ自分たちで小説や短歌を創作する活動を行っているそうで、自身のオリジナル小説創作は現在進行形。「高校の頃には北海道新聞主宰の有島青少年文芸賞に応募を続けていました。テーマは演劇の演出家だったり空手家なのですが、どちらも自分の経験に基づいたものです。今書いているのは現代が舞台のファンタジーです」。なるほど面白い。

在学中は親のクルマを運転して祖父母を訪ねてみたいですね



この機械を動かしているという感覚が好きですね。自宅には模型やミニカーが大量に置いてあります」と、かなりバイタリティ豊かな人だ。そして多彩な趣味は各々がきちんと繋がっている。

「仮面ライダーや戦隊ものも好きです。その影響でバイクにも興味があつて、二輪免許も良いな〜と思っています」。写真をご覧いただいて分かる通り、撮影時には仮面ライダークウガの変身ポーズを決めてくれた。クウガは2000年から翌年の放送なので、野崎さんは誕生していない。「誕生年の放送作品は電王、リアルに鑑賞したのはオーズやフォーゼですね。もちろん時代を遡って、昭和のライダーまで観ました！」。趣味関心の多彩さには素直に驚かされたが、同時に、こんな教師がいたら面白そうだなと思わされた。大学生生活は3年あまり続くが、将来どの町に赴任しても、持ち前のバイタリティは強みになるに違いない。

しかも完全な文系と思いきや「機械も好きですね。ただし不器用なので(笑)分解するのはなく、機械を動かしたり、機械そのものが好きなんです。運転の場合、自分

北海道中央自動車学校

札幌市東区北25条東1丁目1-17 TEL 011-711-3344
代表：工藤博樹 学校長：佐藤隆幸



充実した施設とカリキュラム、そして夜10時までのロングラン教習が在校生に好評。地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩8分にある。学割コースのほか、各種安心プランを充実。AT教習車にはトヨタ教習車を採用していることも特徴のひとつ。教習・検定ともに土・日・祝日も実施。各検定試験の合格率は常にトップクラスを誇る。



職員からひと言

北海道中央自動車学校
教習指導員

國澤 毅(くにさつ)さん
(くにさつ)さん

年齢や職業、国籍も含め様々な生徒さん達と日々接していますので、臨機応変に対応できるよう心がけています。例えば教習中に停止や曲がる場所を指して「そこで」「あそこで」と言うことがありますが、こうした日本独特の表現は、海外の方々から「曖昧」と受けとられることがあり、気をつけるようにしています。私は指導員になって日が浅いのですが、大切にしているのは「安全確認は、見るのではなく探す」ということ。視覚情報は非常に重要、漫然と見るのではなく、歩行者・自転車・バイク・他車などの情報を積極的に収集することが安全確認の第一歩です。運転歴が短い方も長い方も、確認を怠らず安全運転をお願いいたします。